

令和7年6月16日

報道関係者 各位

市川市 文化国際部長 山影 聡香

令和7年度市川市文学ミュージアム企画展 プレス向け内覧会及び観覧のご案内

このたび、市川市文学ミュージアムでは「昭和のテレビドラマ 水木洋子のエッセンシャル展」を開催いたします。

脚本家水木洋子が脚本を務めたテレビドラマ作品における、直筆資料やメモ、取材資料、台本などを展示し、水木の新たな魅力を紹介いたします。プレス向け内覧会または一般公開期間中に、ご高覧いただければ幸いです。

記

1. 日時 ①プレス向け内覧会 令和7年7月18日（金） 13：30～16：00
担当学芸員による個別取材対応、展示室内撮影対応
※ご出席いただける場合は、7月15日（火）までにファクスまたはメールにてご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

②一般公開期間 令和7年7月19日（土）～令和7年9月15日（月・祝）
2. 場所 市川市文学ミュージアム（市川市生涯学習センター2階）
企画展示室
※2階のエレベーター前で受付後、取材対応いたします。

（問い合わせ）

文化国際部 文化施設課 文学ミュージアム
館長 福田 雅人
（担当学芸員 西村 悠大）
TEL 047-320-3334
FAX 047-320-3356
メール fukuda-ma@city.ichikawa.lg.jp

プレスリリース

昭和のテレビドラマ 脚本家水木洋子の エッセンシャル展

日本映画の黄金期、女性脚本家の草分け的存在であった水木洋子はテレビというメディアを早くから評価していました。そして、1957年から1981年までに約50作品のテレビドラマ脚本を手がけました。

本展では、台本、直筆原稿やメモ、取材資料、書簡などを通して、日本のテレビ史、水木の脚本術などを紹介、水木の新しい魅力に迫ります。テレビが情報や娯楽の中心であった昭和の時代に水木がどのような脚本を書き、何を伝えたかったのかを感じていただければ幸いです。

※会期中、一部展示替えを行います。

展覧会名	昭和のテレビドラマ 水木洋子のエッセンシャル展
会 期	令和7年7月19日（土）～9月15日（月・祝）
会 場	市川市文学ミュージアム企画展示室
開館時間	平日 10:00～19:30 土日祝 10:00～18:00 ※入館は閉館時間の30分前まで
休 館 日	7月22日・28日・31日、8月4日・12日・18日・ 25日、9月1日・8日
観 覧 料	無料
主 催	市川市

展示構成

◆水木洋子 テレビへの変遷

日本映画の黄金期を担った脚本家の水木洋子は、早くからテレビの力を評価し、1957 年からはテレビドラマの脚本も手掛け始めました。テレビの歴史を踏まえながら、テレビドラマ台本、愛用品、着物などを展示します。

◇水木洋子のエッセンシャル 徹底した取材

テレビドラマの脚本を書いていた水木は、映画の脚本を書く時と同じように、徹底した取材をしながら執筆していました。取材資料や直筆メモなどを通して、取材が脚本に反映されている部分を合わせ、作品を紹介します。

◆水木洋子のエッセンシャル 家族へのまなざし

水木のテレビドラマ脚本には、様々な家族模様が描かれています。世代差、家族という呪縛、仕事などを中心に水木がどのような思いを脚本に込めたのか、台本、直筆原稿などを通して展示します。

◇その他の作品

『女人平家』をはじめ、会期中に上映される作品などを紹介します。

本展のポイント

- 当館所蔵の水木コレクション約 70 点を展示いたします。日本のテレビ放送の変遷を、テレビ放送初期から脚本を書いていた水木のコレクションとともに楽しみいただけます。
- 水木が社会的なテーマを掲げたテレビ脚本を書く際には、徹底した取材を心がけていました。水木が収集していた取材資料や本人の足で集めた情報が記載されている直筆の手帳などを紹介します。
- 水木の脚本には家族の姿がテーマとして描かれていました。台本や直筆原稿を通して、水木がどのように家族の姿を描いていたのかを紹介します。

会期中のイベント

■水木洋子脚本テレビドラマ上映会

市川市生涯学習センター2 階ベルホール

(当日先着 42 名、入場無料)(10 時 15 分開場。入れ替え制)

・7 月 23 日・25 日・29 日、9 月 10 日・12 日

10:30 女が職場を去る日(80 分)

13:00 こぎとゆかり(48 分)

14:00 なぎ(84 分)

・7 月 24 日・26 日・30 日、9 月 11 日・13 日

10:30 出合い(75 分)

13:00 灯の橋(48 分)

14:00 五月の肌着(48 分)

15:00 竜馬がゆく(第 16 話)(45 分)

・9 月 2 日～6 日

はまなすの花が咲いたら第 1 話～24 話(各 45 分)

※1 日に 5 話ずつ上映(最終日のみ 4 話)

10:30～ 13:00～

■ギャラリートーク

7月25日・9月2日・13日に16:00から企画展展示室で行います。

■その他

会期中に企画展示室外側壁面と資料室で「昭和の市川」の写真パネルを展示します。8月2日、20日、26日にはパネル解説を16:00から行います。また、資料室では昭和時代を知ることができる資料を紹介します。

広報用貸出画像

企画展ポスター画像



「昭和のテレビドラマ 脚本家水木洋子のエッセンシャル展」

広報用画像貸出につきまして

市川市文学ミュージアム 担当：西村

TEL：047-320-3334 FAX：047-320-3356

E-mail: eizobunka-center8@city.ichikawa.lg.jp

（休館日：月曜日、月曜が祝日の場合は翌平日休館）

展覧会広報用画像をご利用希望の際には、下記貸出条件をご確認のうえ、E-mail もしくは TEL、FAX にてご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。担当者より折り返しご連絡いたします。

【広報用画像貸出条件】

- ・ 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・ 画像データはご使用后必ず消去してください。
- ・ 著作権法を遵守し、問題が生じた場合には、申請者がそのすべての責任を負うこととなります。
- ・ 掲載紙を 1 部またはデータにてご提供ください。

雑誌名・番組名・WEB サイト名：_____

発売・放送予定日_____

貴社名_____ご担当者名_____

ご住所_____

ご連絡先 TEL_____FAX_____

E-mail_____

令和7年度市川市文学ミュージアム企画展
「昭和のテレビドラマ 脚本家水木洋子のエッセンシャル展」
.....

【プレス向け内覧会】 日時 : 令和7年7月18日(金) 13:30～16:00

ご出席いただける場合は、7月15日(火)までにファックスまたはメールにて
ご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

ふりがな
ご芳名 :

ご所属 :

ご住所 :

TEL :

ご来館時間 (ご来館予定のお時間が決まっている場合はご記入ください。)
時 分頃

【返送先】



市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015

千葉県市川市鬼高1丁目1番4号

生涯学習センター2階

TEL:047-320-3334 FAX:047-320-3356

お問い合わせ 担当 : 西村 悠大

E-mail : eizobunka-center8@city.ichikawa.lg.jp